

防衛省防衛研究所仕様書			
件名	戦史史料のデジタル化(カセットテープのデジタル化)	部 課 名	防衛研究所 戦史研究センター

## 1. 総 則

### 1. 1 適用範囲

この仕様書は、防衛研究所（以下、「官側」という）が所蔵する戦史史料カセットテープ音声原資料（以下、「原資料」という）本体に記録されている音声信号をデジタル変換（以下、「デジタル化」という）した音声データの作成及び音声データ目録の作成について規定する。

### 1. 2 引用文書等

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものである。

#### (1) 引用文書

国立国会図書館資料デジタル化の手引 録音資料編（カセットテープ、ソノシート）(ISBN 978-4-87582-818-1)（平成 30 年 6 月作成）

#### (2) 関連文書

防衛省所管に属する物品の無償貸付及び譲与等に関する省令（昭和 33 年経理府令第 1 号）

調達品等に係る監督及び検査に関する訓令(昭和 44 年防衛庁訓令第 27 号)

秘密保全に関する訓令（平成 19 年防衛省訓令第 36 号）

秘密保全に関する達（平成 25 年防衛研究所達第 3 号）

防衛研究所の情報保証に関する達（平成 19 年防衛研究所達第 8 号）

## 2. 役務に関する要求

### 2. 1 作業内容

(1) 官側が貸付ける原資料の本体に記録されている音声信号をデジタル変換し音声データを作成する。

(2) (1) で作成した音声データを可搬記憶媒体（CD-R 又は DVD-R（以下、「CD-R 等」という））に格納する。

(3) カセットテープ 1 本に対し、1 つの可搬記憶媒体（CD-R 等）に格納する。

(4) 音声データデジタル化納品リストを提出する。

### 2. 2 作業対象数量等

(1) カセットテープ：125 本（内訳：120 分×68 本、90 分×40 本、70 分×1 本、60 分×16 本）

(2) 対象原資料：別紙第 1「カセットテープデジタル化目録（令和 3 年度）」

### 2. 3 納期

令和 3 年 12 月 10 日

### 2. 4 資格要件

- (1) 過去に国会図書館、公文書館又は文化・学術機関が所蔵するカセットテープの音声デジタル化を履行した実績を有すること。
- (2) デジタル音声作成を行う作業者は、デジタル音声作成の経験を有すること。

## 2. 5 作業環境

- (1) 提出及び納品する可搬記憶媒体（CD-R 等）及び印刷物は契約相手方が用意すること。
- (2) 作業場所及び資器材等（官側貸付品除く）は、契約相手方が準備すること。
- (3) 作業場所については、温湿度管理、防火・防水対策を行うこと。
- (4) 作業場所及び資器材等に関し、原資料の紛失・盗難、音声データの外部漏洩等を防止するための適切な対策を講ずること。特に、原資料は錠のかかる書庫等に保管し作業員以外の目に触れない対策を講ずること。

## 2. 6 情報の保全等

契約相手方は、本件に関して官側が提示した一切の情報（公知の事実等を除く。）及び本件に関連する作業の遂行過程において知り得た一切の情報（以下「本件に関する情報」という。）について、次の義務を遵守すること。

- (1) 本件に関する情報は、契約相手方、作業員及び官側が明示的に許可する者以外に開示又は提供しないこと。
- (2) 本件履行期間中及びかし担保責任期間中は、本件に関する情報の取扱いについて、過失又は不正行為によって本件の責任者、作業員及び官側が明示的に許可する者以外の者に開示されることを防止するための適切な措置を講ずること。
- (3) 本件に関する情報を知り得た者が、異動、転職、退職等の事由によって本件と無関係になった場合でも、官側の書面による許可なく本件に関する情報を他者に開示させないこと。
- (4) その他官側の指示に基づいて守秘義務を遵守すること。
- (5) 官側は必要の都度、作業場所を訪問し保管状況及び作業環境の確認点検を実施する。また、作業で使用したデータ等については、納品後消去するとともに、契約相手方から官側に消去証明書を提出すること。

## 2. 7 準拠

- (1) 契約相手方は、契約後速やかに官側と作業打合わせを行い、作業実施計画を提出すること。
- (2) 作業実施計画には、作業管理体制（作業管理者、品質管理者（作業管理者と異なる者）及び作業員名簿含む）及び作業項目（A/D 変換、音声データ作成、可搬記憶媒体格納及び納品物リスト作成）ごとに作業員、想定処理量、作業期間等を記載した週単位の工程表を含ませること。

## 2. 8 納入品

契約相手方は下記に示す成果物を、納期までに官側に納品すること。細部については、官側との協議に基づき実施するものとする。

- (1) 音声データ : 格納媒体 [CD-R 等]
- (2) 音声データデジタル化納品リスト : 格納媒体 [CD-R 等]
- (3) 格納媒体 [CD-R 等] は、薄型透明プラスチックケースに格納して、3. 2. (10) の格納形式で納品すること。

## 2. 9 品質保証

- (1) 官側へ納品した成果物に不具合が発見された場合は、納入後 1 年間、契約相手方の責任において速やかに復旧等の対応を行うこと。

(2) 復旧作業等により原資料の引渡しを受ける場合は借用書を提出すること。

### 3. 音声データの作成

国立国会図書館資料デジタル化の手引 録音資料編(カセットテープ、ソノシート) (ISBN 978-4-87582-818-1) (平成 30 年 6 月作成) 参考資料(「カセットテープ音声の原資料からの電子化仕様書(本編)」) 2. 2, 2. 5 及び 2. 6. 3. 1 を参照のほか、以下に準ずる。

#### 3. 1 音声データ作成の概要

原資料の音声データの作成作業の概要は次のとおりである。

- (1) 音声データ作成前に必ず試聴を行い、原音の音質確認を行う。
- (2) 専用の機器を用いてカセットテープを再生しつつ同時に A/D 変換器によりデジタル化作業を行い、音声データを作成しコンピュータ上に記録する。
- (3) デジタル化した音声データの音質確認のため検聴を行う。
- (4) 検聴の結果、特に異常が認められない場合は、官側が指定した形式で音声データを保存する。原音にないノイズが確認された場合は必要に応じ、原音を損なわない程度に音声編集ソフトウェアを用いてノイズ処理を行う。
- (5) デジタル化が終了したカセットテープを A 面先頭まで巻き戻す。

#### 3. 2 音声データの仕様

- (1) デジタル化の作業は、1 個カセットテープごとに 1 個可搬記憶媒体(CD-R 等)とし、最初から最後まで遺漏なく行うこと。
- (2) カセットテープの 1 つの面の最後の方に録音されていない部分が存在する場合も、必ず最後までデジタル化作業を行うこと。ただし、全く音声記録されていない面は、デジタル化しない。
- (3) 必要に応じてノイズリダクション等の処理を音声編集ソフトウェアで行った後、下記(4)で指定する形式で保存すること。

##### (4) フォーマット

音声データのフォーマットは、リニア PCM 対応の非圧縮形式である WAVE 形式(WAV ファイル(RIFF Waveform Audio Format))。拡張子は「.wav」で音声データを保存すること。

##### (5) デジタル変換時のデータ品質

音声データのサンプリング周波数は 48kHz、ビット深度は 24bit とする。

##### (6) 再生機器

再生に用いるオーディオカセットデッキは、下記アからオまでに示した機能と同程度の機種を用意すること。

ア テープ速度が 4.76 cm/s の等速度再生を維持できること。

イ 0.3%以下の速度偏差であること。

ウ 0.1%以下のワウ・フラッター性能を持つこと。

エ ノーマルポジション、メタルポジション等の種類別再生機能を持つこと。

オ 30~20kHz、+2dB/-3dB 以上の周波数特性を持つこと。

##### (7) 変換器

A/D 変換器は、最低でも 48kHz/24bit 以上のデジタル化の能力を持つものを使用することとし、十分な性能を確保するため、可能であれば 96kHz/24bit 以上のデジタル化に対応可能な性能を有するものを用いること。

##### (8) 品質確認に係る検聴作業

ア 作成した音声データは、冒頭、中間及び最後の 3 ヶ所を各 30 秒程度検聴すること。

イ 検聴の結果、原音に比べて、録音の音が割れてゆがんでいるように聞こえる、非常に音が小さい又は大きいなど音質が著しく劣化しており、かつ、改めてデジタル化作業を行うことで音質の改善が見込まれる場合、改めてデジタル化作業を行うこと。

ウ 録音レベルが良好でない場合、左右のバランスや入力レベル等の調整を図ること。ただし、スクラッチノイズ等、再生時にどうしても含まれるノイズが含まれることはやむを得ないものとする。

エ 原資料のデジタル化検査終了後、検聴の異状の有無を別紙第 2「音声データデジタル化納品リスト」に記載すること。

#### (9) ノイズの処理

ア 試聴及び検聴の結果、原音にはないノイズが確認できる場合、必要に応じて音声編集ソフトウェアを用いて目立たない程度のノイズ処理をすること。

イ 完全にノイズを除去することは不可能であることから、原音を損なう無理なノイズの除去作業は行わない。一方、原音に明らかにノイズと判断される音が含まれている場合、ノイズ処理は行わない。

ウ ノイズが含まれる場合、或いはノイズ処理を行った場合は、別紙第 2「音声データデジタル化納品リスト」に記載する。

#### (10) 格納形式

ア 格納媒体 : CD-R (1 層、650/700MB) 又は DVD-R (1/2 層、4.7/5GB)

イ 論理フォーマット : JOLIET 又は ISO (level1) のいずれかとする。

ウ ファイル名の付与 : CD-R 等 1 枚毎にファイル名を付与する。

エ 格納媒体の耐用年数 : メーカー公表値 30 年以上

オ 納品形態 : 媒体表面に別途指示するタイトル等の情報を印字 (CD-R に直接印字) する。

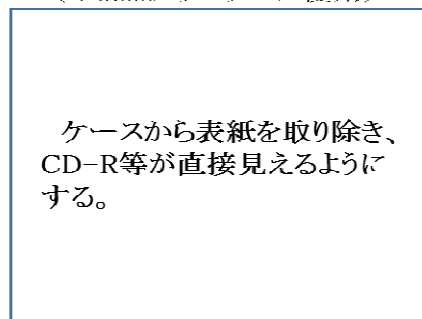
カ 書き込み規制 : クローズセッション、追記禁止

キ CD-R 等格納ケース : 厚さ 5mm の薄型の格納ケースに入れること。CD-R 等 1 枚につき 1 ケースとする。

#### 【音声データ格納媒体の印字の一例】



CD-R等保護用プラスチックケース  
(\*5mmスリムケース使用)



### 3. 3 補修等

役務遂行上、当該役務を遂行できないカセットテープの不具合を発見した場合は、官側とすみやかに協議すること。

### 3. 4 検査

納入時、官側が指定した端末等において可搬記憶媒体に格納された音声データの検査を行う。

## 4 その他

### 4. 1 貸付品

契約相手方は、表1に示す貸付品を無償で貸付けすることができる。

表1 貸付品

名称	秘密区分	予定数量		引渡時期	引渡場所	返納時期	返納場所
カセットテープ	注意	45本	計 125本	契約後、速やかに	防衛研究所	納品時	防衛研究所
	なし	80本					
カセットテープデジタル化目録(令和3年度)	なし	一式					

### 4. 2 提出書類

提出書類については、表2のとおりとする。

表2 提出書類

名称	部数	提出時期	様式等	提出場所	備考	
音声データデジタル化納品リスト	2部	納品時	別紙第2	防衛省 防衛研究所	CD-R等に加え、紙(2部)提出	
作業実施記録			別紙第3		作業実施日毎作成	
消去証明書	1部	納品後	様式随意		作業管理体制、作業項目、工程表等を含む	
作業実施計画		契約後、速やかに			使用電子化機器材表	使用機器材の機種名、台数

### 4. 3 権利

本役務で作成されたデータ等の編集著作権及び成果物に係わる一切の権利は、官側に帰属するものとする。

### 4. 4 その他

(1) 契約相手方は、貸付品の盗難、破損等防止に留意するとともに、万一破損等が発生した場合は、速やかに官側に報告する。契約相手方の故意又は過失により生じた損害は、契約相手方の負担により修復するものとする。

(2) この仕様書において疑義が生じた場合、契約相手方は直ちに官側と協議す

ること。

## カセットテープデジタル化目録(令和3年度)

一連 番号	ファイル 番号	ファイル名	語り手	数量	備 考
1	戦-1-1	開戦経緯 1, 2	原四郎	90分×1	
2	戦-1-2	開戦経緯 3, 4	原四郎	90分×1	
3	戦-1-3	開戦経緯	原四郎	90分×1	
4	戦-1-4	開戦経緯	原四郎	60分×1	
5	戦-1-5	村松剛 1, 2	村松剛	60分×1	
6	戦-1-6	村松剛 3, 4	村松剛	60分×1	
7	戦-1-7	村松剛 5, 6 戦争と情報	村松剛、井門満明	60分×1	
8	戦-1-8	松村剛Ⅱ (1)、(2)	村松剛	120分×1	
9	戦-1-9	松村剛Ⅱ (3)、(4)	村松剛	120分×1	テープ時間不明のため120分とした
10	戦-1-10	軍事史研究の諸課題	伊藤隆	90分×1	
11	戦-1-11	保安隊うら話	辰巳元中将	120分×1	
12	戦-1-12	メッケル訳を読んで	林三郎	120分×1	
13	戦-1-13	SAM問題雑談	田中兼五郎 松金久知	60分×1	
14	戦-1-14	年度調査報告第1事案経緯	野尻徳雄	60分×1	
15	戦-1-15	対談日露戦争(1)	島貫重節 梅博	120分×1	
16	戦-1-16	対談日露戦争(2)	島貫重節 梅博	120分×1	
17	戦-1-17	2.26事件以後における人事刷新について(1)、(2)	田中度美	60分×1	
18	戦-1-18	2.26事件以後における人事刷新について(3)	田中度美	60分×1	
19	戦-1-19	日本海軍の戦史研究資料について(2)	市来俊男	120分×1	同(1)カセットなし
20	戦-1-20	日本海軍の戦史研究資料について(3)	市来俊男	120分×1	
21	戦-1-21	日本海軍の戦史研究資料について(4)、富岡定俊資料	市来俊男	120分×1	
22	戦-1-22	日本海軍の戦史研究資料について(5)、石川信吾資料	市来俊男	120分×1	
23	戦-1-23	日本海軍の戦史研究資料について(6)、石川信吾資料2-1	市来俊男	60分×1	
24	戦-1-24	日本海軍の戦史研究資料について(6)、石川信吾資料2-2	市来俊男	60分×1	
25	戦-1-25	石川信吾とその資料	市来俊男	120分×1	

26	戦-1-26	岡敬純 1/2	市来俊男	60分×1	
27	戦-1-27	岡敬純 2/2	市来俊男	60分×1	
28	戦-1-28	海軍の体質と補給	松永永芳	120分×1	
29	戦-1-29	海軍の人事運用(1)	末国正雄	120分×1	
30	戦-1-30	海軍の人事運用(2)	末国正雄	90分×1	
31	戦-1-31	海軍の人事運用 省部互渉規定を中心にI	末国正雄	90分×1	
32	戦-1-32	海軍の人事運用 省部互渉規定を中心にII	末国正雄	90分×1	
33	戦-1-33	帝国海軍の人事運用(1)	末国正雄	60分×1	
34	戦-1-34	帝国海軍の人事運用(2)	末国正雄	60分×1	
35	戦-1-35	ビルマ(フーコン作戦)1	中山丈太郎	120分×1	
36	戦-1-36	ビルマ(フーコン作戦)2	中山丈太郎	120分×1	
37	戦-1-37	松代大本営移転問題	岩田政孝	120分×1	
38	戦-1-38	宮城事件	岩田政孝	120分×1	
39	戦-1-39	朝鮮戦争(1)	佐々木春隆	120分×1	
40	戦-1-40	朝鮮戦争(3)、(1)	佐々木春隆	120分×1	
41	戦-1-41	朝鮮戦争(2)、(3)	佐々木春隆	120分×1	
42	戦-1-42	戦史月例研究会(1)	末国正雄	90分×1	
43	戦-1-43	戦史月例研究会(2)	末国正雄	60分×1	
44	戦-1-44	軍人と政治	末国正雄	120分×1	
45	戦-1-45	軍人と政治(2)-1	末国正雄	90分×1	
46	戦-1-46	軍人と政治(2)-2	末国正雄	90分×1	
47	戦-1-47	海軍将官の人事	末国正雄	120分×1	
48	戦-1-48	海軍の人事システム	佐藤毅	120分×1	
49	戦-3-1	関東軍	中山隆志	120分×1	
50	戦-3-2	兵語にみる日本の兵学、戦略(2)	前原透	120分×1	同(1)カセットなし



51	戦-3-3	兵語にみる日本の兵学、戦略（3）	前原透	120分×1	
52	戦-3-4	兵語にみる日本の兵学、戦略（4）	前原透	120分×1	
53	戦-3-5	兵語にみる日本の兵学、戦略（5）-1	前原透	90分×1	
54	戦-3-6	兵語にみる日本の兵学、戦略（5）-2	前原透	90分×1	
55	戦-3-7	兵語にみる日本の兵学、戦略（6）-1	前原透	90分×1	
56	戦-3-8	兵語にみる日本の兵学、戦略（6）-2	前原透	60分×1	
57	戦-3-9	比較史 殲滅戦について	前原透	120分×1	
58	戦-3-10	比較史 殲滅戦について	前原透	120分×1	戦-3-9と同じ
59	戦-3-11	比較史 戦いの原則 1	前原透	120分×1	
60	戦-3-12	比較史 戦いの原則 2	前原透	120分×1	
61	戦-3-13	軍事思想史 攻勢主義 1	前原透	120分×1	
62	戦-3-14	軍事思想史 攻勢主義 2	前原透	120分×1	
63	戦-3-15	戦史叢書（1）	末国正雄	120分×1	
64	戦-3-16	戦史叢書（2）	吉松正博	120分×1	
65	戦-3-17	戦史叢書（3）-1	森松俊夫	90分×1	
66	戦-3-18	戦史叢書（3）-2	森松俊夫	90分×1	
67	戦-3-19	戦史叢書（4）-1	佐藤百太郎	90分×1	
68	戦-3-20	戦史叢書（4）-2	佐藤百太郎	90分×1	
69	戦-3-21	戦史叢書（5）-1	野村実	90分×1	
70	戦-3-22	戦史叢書（5）-2	野村実	90分×1	
71	戦-3-23	戦史叢書（6）-1	市来俊夫	90分×1	
72	戦-3-24	戦史叢書（6）-2	市来俊夫	90分×1	
73	戦-3-25	戦史叢書（7）-1	生田惇	90分×1	
74	戦-3-26	戦史叢書（7）-2	生田惇	90分×1	
75	戦-3-27	戦史叢書（8）	福重博	120分×1	

76	戦-3-28	戦史叢書(9)	名和田雄	120分×1	
77	戦-3-29	戦史叢書(10)-1	角田求士	90分×1	
78	戦-3-30	戦史叢書(10)-2	角田求士	90分×1	
79	戦-3-31	戦史叢書(11)	内田一臣	120分×1	
80	戦-3-32	戦史叢書(12)	赤坂幸春	120分×1	
81	安-1	中村悌二オール・ヒストリー(1/31)	中村悌二	120分×1	
82	安-2	中村悌二オール・ヒストリー(2/31)	中村悌二	90分×1	
83	安-3	中村悌二オール・ヒストリー(3/31)	中村悌二	90分×1	
84	安-4	中村悌二オール・ヒストリー(4/31)	中村悌二	90分×1	
85	安-5	中村悌二オール・ヒストリー(5/31)	中村悌二	90分×1	
86	安-6	中村悌二オール・ヒストリー(6/31)	中村悌二	90分×1	
87	安-7	中村悌二オール・ヒストリー(7/31)	中村悌二	90分×1	
88	安-8	中村悌二オール・ヒストリー(8/31)	中村悌二	120分×1	
89	安-9	中村悌二オール・ヒストリー(9/31)	中村悌二	120分×1	
90	安-10	中村悌二オール・ヒストリー(10/31)	中村悌二	120分×1	
91	安-11	中村悌二オール・ヒストリー(11/31)	中村悌二	120分×1	
92	安-12	中村悌二オール・ヒストリー(12/31)	中村悌二	120分×1	
93	安-13	中村悌二オール・ヒストリー(13/31)	中村悌二	120分×1	
94	安-14	中村悌二オール・ヒストリー(14/31)	中村悌二	70分×1	
95	安-15	中村悌二オール・ヒストリー(15/31)	中村悌二	90分×1	
96	安-16	中村悌二オール・ヒストリー(16/31)	中村悌二	90分×1	
97	安-17	中村悌二オール・ヒストリー(17/31)	中村悌二	120分×1	
98	安-18	中村悌二オール・ヒストリー(18/31)	中村悌二	120分×1	
99	安-19	中村悌二オール・ヒストリー(19/31)	中村悌二	120分×1	
100	安-20	中村悌二オール・ヒストリー(20/31)	中村悌二	120分×1	

101	安-21	中村悌二オール・ヒストリー (21/31)	中村悌二	90分×1	
102	安-22	中村悌二オール・ヒストリー (22/31)	中村悌二	120分×1	
103	安-23	中村悌二オール・ヒストリー (23/31)	中村悌二	120分×1	
104	安-24	中村悌二オール・ヒストリー (24/31)	中村悌二	120分×1	
105	安-25	中村悌二オール・ヒストリー (25/31)	中村悌二	120分×1	
106	安-26	中村悌二オール・ヒストリー (26/31)	中村悌二	120分×1	
107	安-27	中村悌二オール・ヒストリー (27/31)	中村悌二	120分×1	
108	安-28	中村悌二オール・ヒストリー (28/31)	中村悌二	120分×1	
109	安-29	中村悌二オール・ヒストリー (29/31)	中村悌二	90分×1	
110	安-30	中村悌二オール・ヒストリー (30/31)	中村悌二	120分×1	
111	安-31	中村悌二オール・ヒストリー (31/31)	中村悌二	120分×1	
112	安-32	ハリー・フクハラオール・ヒストリー (1/4)	ハリー・フクハラ	120分×1	
113	安-33	ハリー・フクハラオール・ヒストリー (2/4)	ハリー・フクハラ	120分×1	
114	安-34	ハリー・フクハラオール・ヒストリー (3/4)	ハリー・フクハラ	120分×1	
115	安-35	ハリー・フクハラオール・ヒストリー (4/4)	ハリー・フクハラ	90分×1	
116	安-36	鷹尾洋保オール・ヒストリー (1/4)	鷹尾洋保	90分×1	
117	安-37	鷹尾洋保オール・ヒストリー (2/4)	鷹尾洋保	90分×1	
118	安-38	鷹尾洋保オール・ヒストリー (3/4)	鷹尾洋保	120分×1	
119	安-39	鷹尾洋保オール・ヒストリー (4/4)	鷹尾洋保	90分×1	
120	安-40	市来俊男オール・ヒストリー (1/4)	市来俊男	120分×1	
121	安-41	市来俊男オール・ヒストリー (2/4)	市来俊男	120分×1	
122	安-42	市来俊男オール・ヒストリー (4/4)	市来俊男	120分×1	同(3/4)は、別途実施
123	安-43	玉木清司オール・ヒストリー (1/4)	玉木清司	120分×1	
124	安-44	玉木清司オール・ヒストリー (2/4)	玉木清司	120分×1	
125	安-45	玉木清司オール・ヒストリー (4/4)	玉木清司	90分×1	同(3/4)は、別途実施



## 作業実施記録

契約番号		
契約年月日		
契約件名		
会社名		
作業期間		
作業実施場所		
作業実施責任者（現地管理者）	氏名	印
作業実施者氏名	時間	作業内容
監督官所見		
令和 年 月 日		
監督官		印